F&A AQUA
holdings,inc.

株式会社Ｆ＆Ａアクアホールディングス
（東証一部　8008）

第59期（2009年2月期）決算説明会

2009年4月13日

F&A AQUA holdings,inc.

Contents

F&A AQUA
holdings,inc.

Ⅰ　2009年2月期総括

Ⅱ　2009年2月期決算概要と次期予測

Ⅲ　第一次中期経営計画の振り返りと第二次中期経営計画

㈱Ｆ＆Ａアクアホールディングス　代表取締役社長　木村祭氏

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようにお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

F&A AQUA
holdings,inc.

Ⅰ．2009年2月期総括

1．経営環境分析

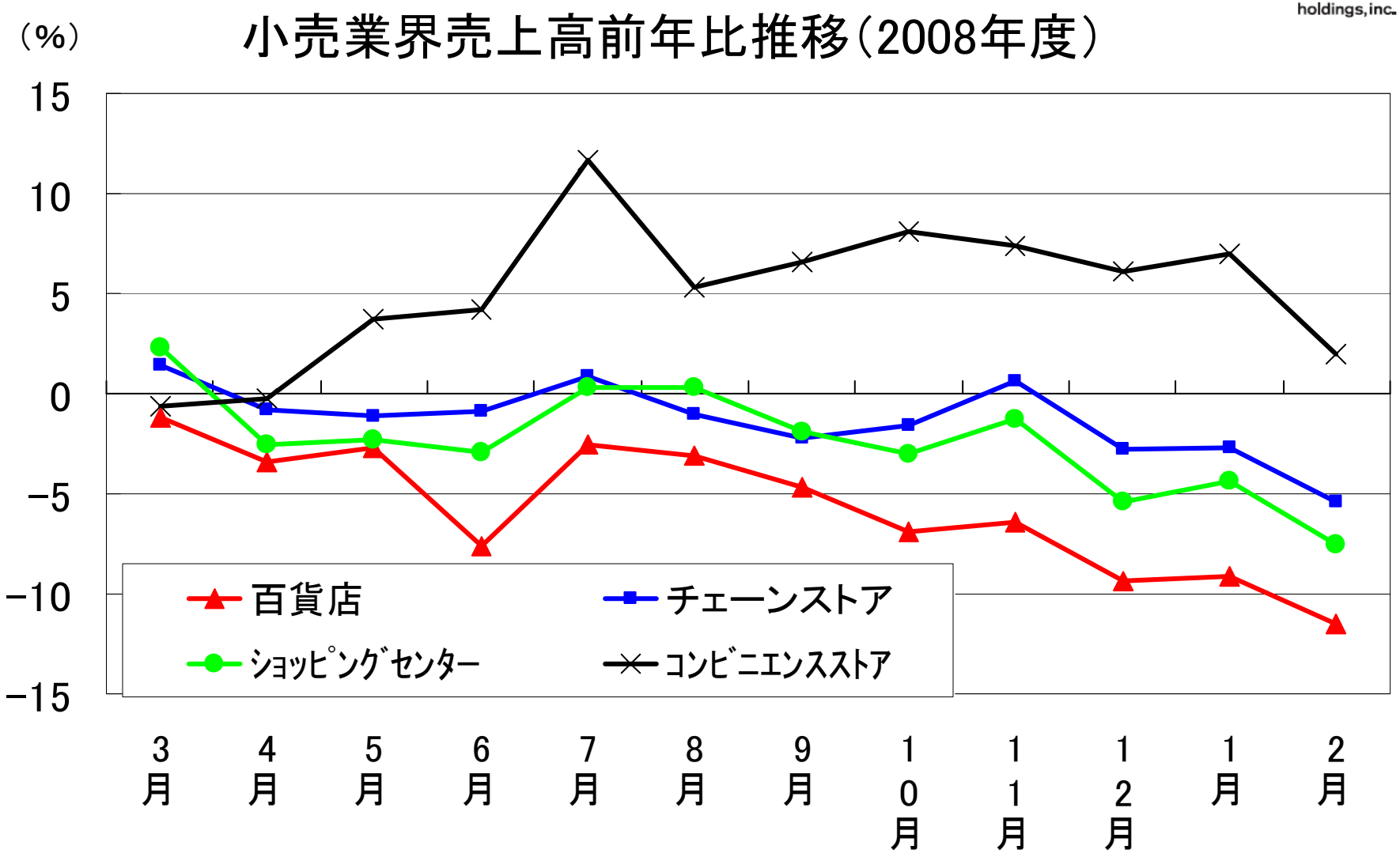
F&A AQUA holdings,inc.

戦後最悪の景気後退による小売マーケットの縮小

資材価格、為替の急激な変動

1．経営環境分析

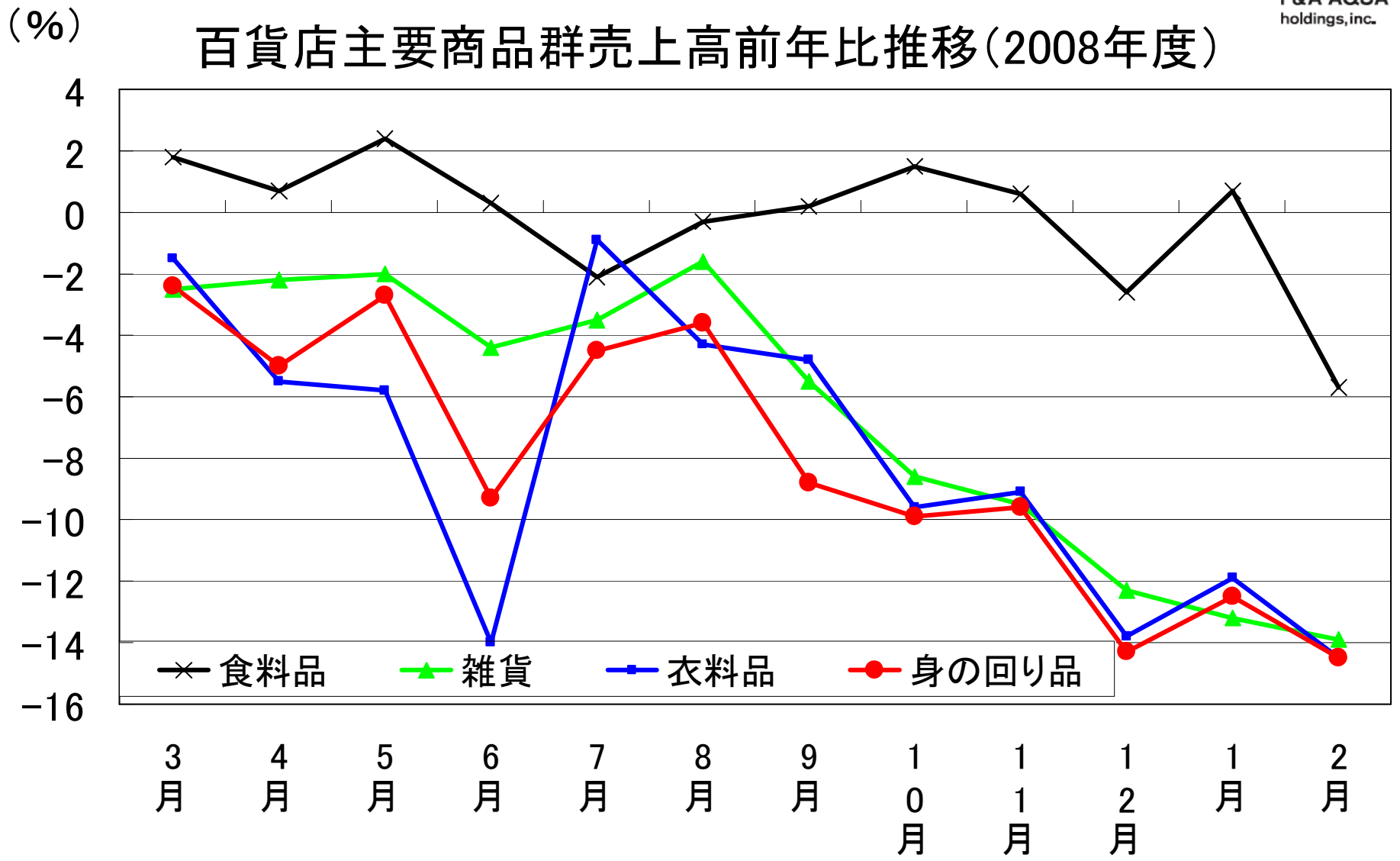
F&A AQUA holdings,inc.



（日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本ショッピングセンター協会、日本フランチャイズチェーン協会資料参照）

1．経営環境分析

F&A AQUA holdings,inc.

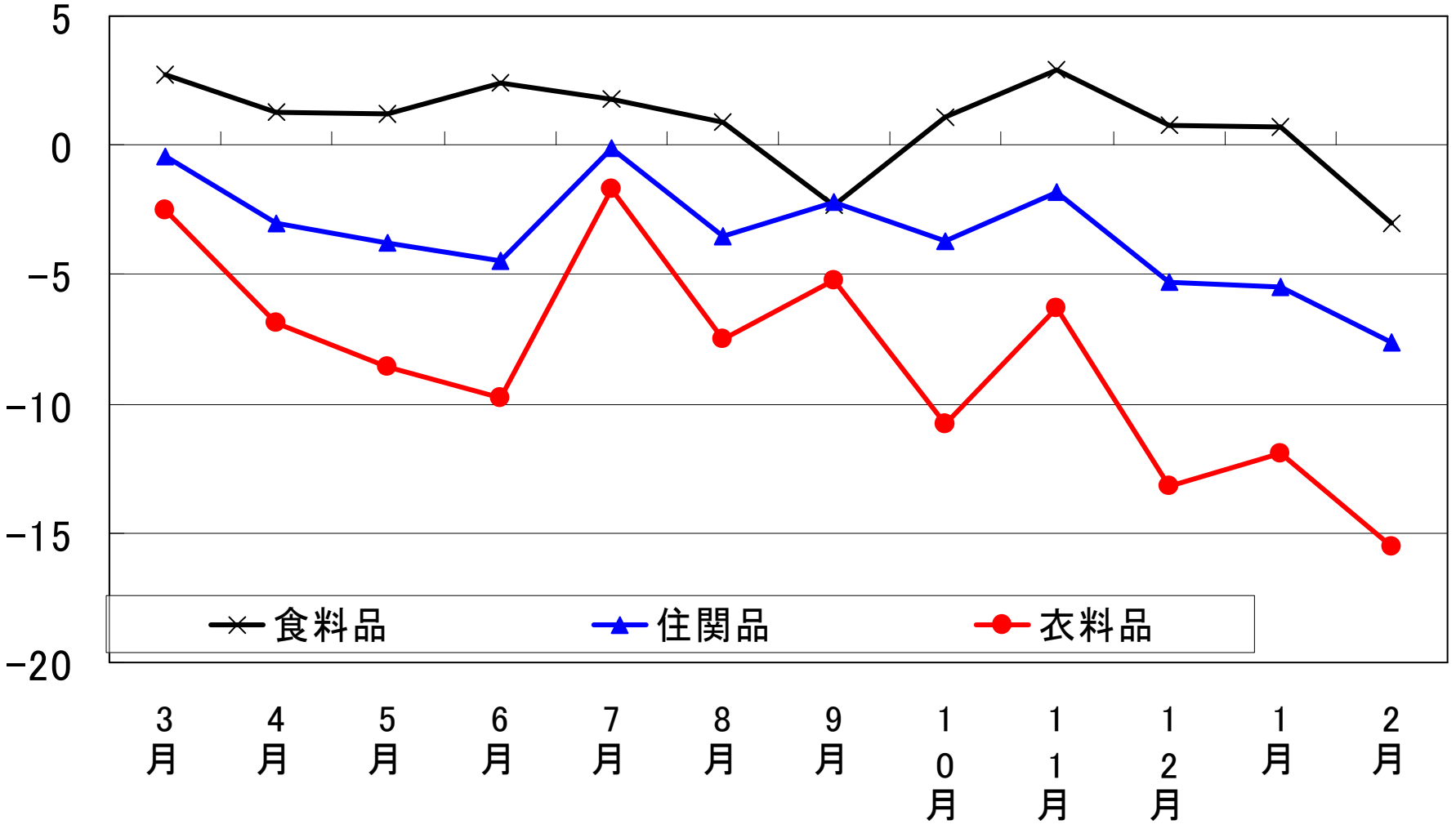


雑貨：化粧品、美術・宝飾・貴金属　身の回り品：アクセサリー、靴、ハンドバッグ等（日本百貨店協会資料参照）

1．経営環境分析

F&A AQUA holdings,inc.

（%）　チェーンストア主要商品群売上高前年比推移（2008年度）



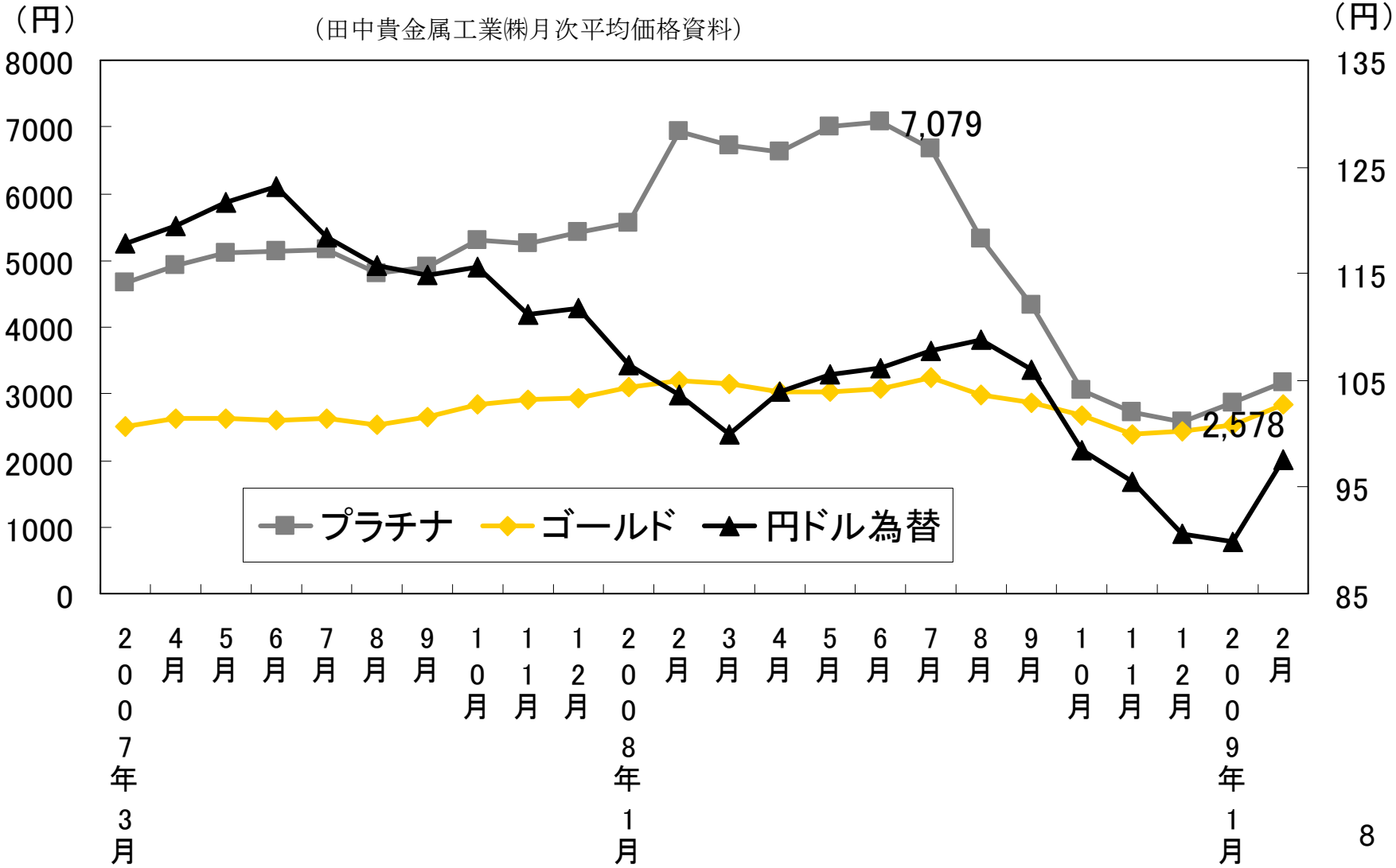
（日本チェーンストア協会資料参照）

1．経営環境分析

F&A AQUA holdings,inc.

資材価格、円ドル為替推移（2007年～2008年度）

（田中貴金属工業㈱月次平均価格資料）



2. 業績の概要(連結)

F&A AQUA holdings,inc.

営業収益、営業利益で増収増益　当期純利益は大幅増益
売上高515億円　経常利益23億円　当期純利益7億円

・既存事業は堅調、㈱三鈴のグループ入りで増収
・持分法適用会社の大幅下方修正(経常利益・当期純利益影響額△5億円)

(百万円、%)	第58期(2008/2)	第59期(2009/2)	
	実績	実績	前期比・差
営業収益(不動産賃貸収入含む)	50,991	51,557	1.1
売上高	49,080	49,694	1.3
売上総利益	22,675	24,250	6.9
売上総利益率	46.2	48.8	2.6
その他の営業収入	1,910	1,862	△2.5
販売費及び一般管理費	22,553	23,818	5.6
営業利益	2,031	2,294	12.9
経常利益	2,536	2,341	△7.7
当期純利益	266	707	165.5

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

（百万円、%）		第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
		実績	実績	前期比・差
FDCプロダクツグループ	売上高	23,243	23,226	△0.0
	営業利益	1,882	2,077	10.4
	経常利益	1,968	2,163	9.9
	当期純利益	297	1,019	242.7
アスティグループ	営業収益	26,839	20,960	△21.9
	営業利益	447	392	△12.3
	経常利益	576	623	8.1
	当期純利益	△692	△163	528
アージュグループ	売上高	8,453	9,464	12.0
	営業利益	67	29	△55.6
	経常利益	67	32	△52.2
	当期純利益	△200	△30	170
㈱三鈴（08.9～09.2）	売上高	（計画） 4,100	3,810	△7.1
	営業利益	（計画） 210	174	△17.1
	経常利益	（計画） 210	196	△6.2
	当期純利益	（計画） 100	67	△33.5

※グループ間取引相殺前の数値の為、単純合計は一致いたしません。

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

①FDCプロダクツグループ

営業収益前年並み　売上高232億円　経常利益21.6億円

- 「4℃」ジュエリーの健闘、新ブランドの立ち上げ
- 子会社損益改善と特損減少による当期純利益の大幅改善

②アスティグループ

減収増益　売上高210億円　経常利益6.2億円

- 不採算商品の廃止による減収、大幅利益改善で増益
- 子会社「上田靴下」の不振あるも事業再編等で当期純利益大幅改善

③アージュグループ

増収減益　売上高94億円　経常利益0.3億円

- アスティグループからの事業移管による増収
- デイリーファッション事業の苦戦により減益

④㈱三鈴：

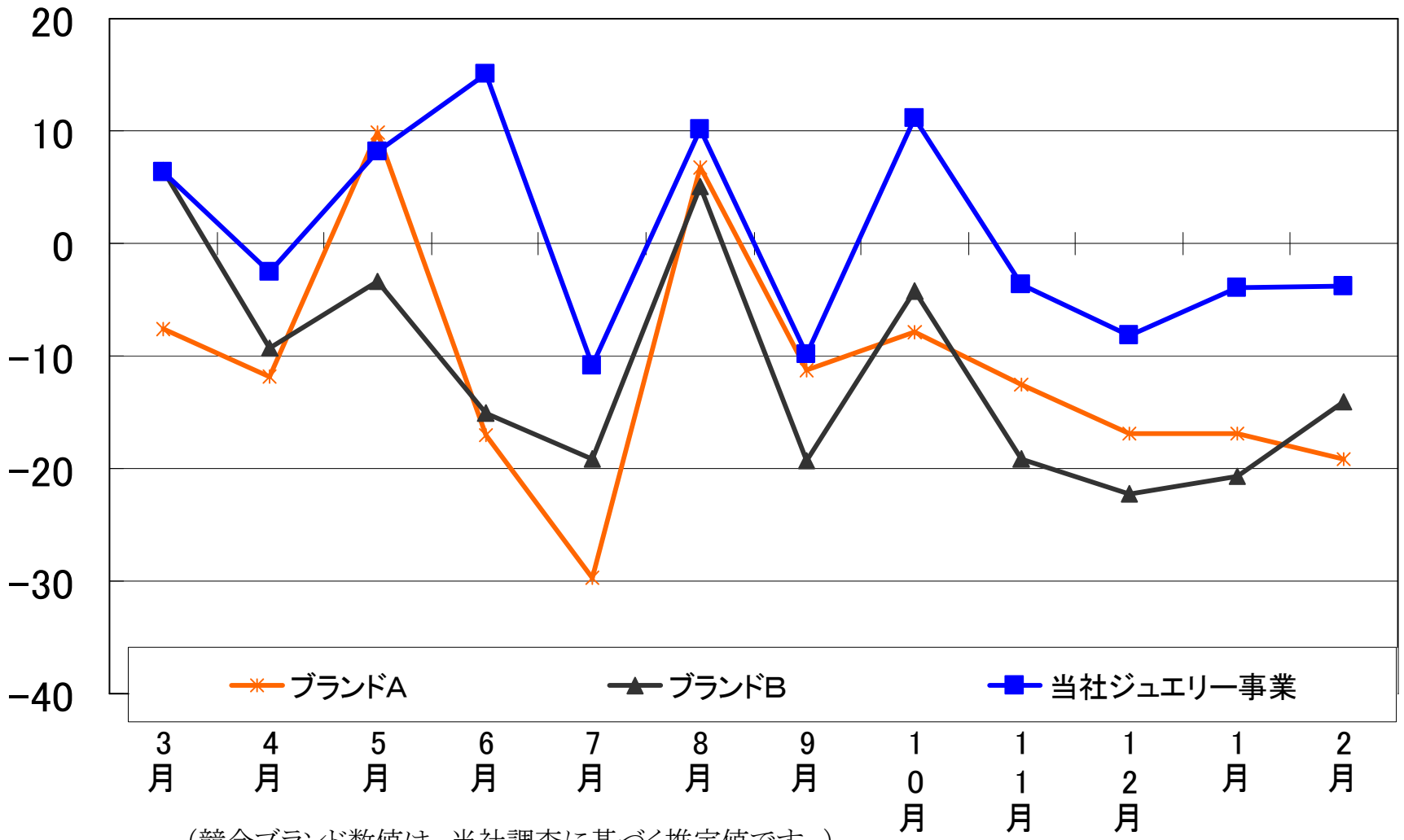
ほぼ計画通り進捗　売上高38億円　経常利益2.0億円

- 不採算店舗圧縮、ブランド・MD・店舗戦略等の見直し実施

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings,inc.

ジュエリー競合ブランド既存店売上高前年比推移（2008年度）



（競合ブランド数値は、当社調査に基づく推定値です。）

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

FDCプロダクツグループ過去最高利益

・営業収益、営業利益、経常利益で増収増益
　既存事業の健闘
　㈱ホアキン・ベラオ・ジャパン
　　不採算店舗の撤退　　営業利益△1億円改善

・当期純利益の大幅改善

不動産売却益＋税効果	+2.5億円
子会社再編（売却、解散）	+1.5億円
ウエア商品評価損減少	+1.0億円

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

①FDCプロダクツグループ
営業収益前年並み　売上高232億円　経常利益21.6億円
・「4℃」ジュエリーの健闘、新ブランドの立ち上げ
・子会社損益改善と特損減少による当期純利益の大幅改善

②アスティグループ
減収増益　売上高210億円　経常利益6.2億円
・不採算商品の廃止による減収、大幅利益改善で増益
・子会社「上田靴下」の不振あるも事業再編等で当期純利益大幅改善

③アージュグループ
増収減益　売上高94億円　経常利益0.3億円
・アスティグループからの事業移管による増収
・デイリーファッション事業の苦戦により減益

④㈱三鈴：
ほぼ計画通り進捗　売上高38億円　経常利益2.0億円
・不採算店舗圧縮、ブランド・MD・店舗戦略等の見直し実施

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

アスティグループ当期純利益　大幅改善　5億円

・不採算商品の廃止効果
　荒利益率改善　+1.9%　　荒利益高　+0.7億円

・子会社㈱吉武の回復
　取引先の集中と経費削減、特別損益の改善　+2.4億円

・事業再編による税金費用等の減少　+2.7億円

・子会社㈱上田靴下の不振
　滞留在庫処分による営業損失　△0.8億円

3. 事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

①FDCプロダクツグループ
営業収益前年並み　売上高232億円　経常利益21.6億円
・「4℃」ジュエリーの健闘、新ブランドの立ち上げ
・子会社損益改善と特損減少による当期純利益の大幅改善

②アスティグループ
減収増益　売上高210億円　経常利益6.2億円
・不採算商品の廃止による減収、大幅利益改善で増益
・子会社「上田靴下」の不振あるも事業再編等で当期純利益大幅改善

③アージュグループ
増収減益　売上高94億円　経常利益0.3億円
・アスティグループからの事業移管による増収
・デイリーファッション事業の苦戦により減益

④㈱三鈴：
ほぼ計画通り進捗　売上高38億円　経常利益2.0億円
・不採算店舗圧縮、ブランド・MD・店舗戦略等の見直し実施

３．事業会社グループ別損益の概要

F&A AQUA holdings, inc.

㈱三鈴　完全子会社化の成果

①SPA型リテール事業にジュエリー事業に続く第二の柱ができた。

②内部管理力の強化により厳しい市場環境下で、

　ほぼ計画どおりの収益貢献ができた。

　経常利益率5.2%

③三鈴の資金調達コストの削減ができた。

④店舗開発等におけるグループシナジー効果が出てきた。

F&A AQUA
holdings,inc.

Ⅱ　2009年2月期決算概要と次期予測

1．業績の概要（連結）

F&A AQUA holdings,inc.

事業構造改革で収益構造も改善
リテール事業拡大、卸事業圧縮　→　売上総利益率向上、営業利益率向上

（百万円、%）	第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
	実績	実績	前期比・差
営業収益（不動産賃貸収入含む）	50,991	51,557	1.1
売上総利益	22,675	24,250	6.9
売上総利益率	44.5	47.0	2.5
販売費及び一般管理費	22,553	23,818	5.6
販管費率	44.2	46.2	2.0
営業利益	2,031	2,294	12.9
営業利益率	4.0	4.4	0.4

（分母はすべて営業収益）

2. 販売管理費の状況(連結)

F&A AQUA holdings, inc.

事業構造変化により人件費、借地借家料、販売広告費等増加

(百万円、%)	第58期(2008/2)	第59期(2009/2)	
	実績	実績	前期比・差
人件費	7,797	8,480	8.8
借地借家料	7,027	7,472	6.3
販売広告費	1,198	1,253	4.6
業務委託費	908	870	△4.2
旅費	345	363	5.2
荷造運賃	900	847	△5.8
減価償却費	634	745	17.4
のれん償却額	647	575	△11.0
その他	2.914	3,010	3.3
合計	22,553	23,818	5.6
販管費率(分母は営業収益)	44.2	46.2	2.0

３．貸借対照表概要（連結）

F&A AQUA holdings, inc.

財務の健全性維持
三鈴の子会社化により総資産増加、借入金増加

（百万円、%）	第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
	実績	実績	前期比・差
総資産	53,722	55,231	2.8
流動資産	11,620	12,968	11.6
固定資産	42,102	42,262	0.4
借入金	4,762	7,593	59.4
有利子負債比率（%）	8.9	13.7	4.8
純資産	38,056	37,101	△2.5
少数株主持分	3	2	△25.7
自己資本比率	70.8	67.2	△3.6

4. キャッシュフローの概要（連結）

F&A AQUA holdings, inc.

仕入債務の減少と在庫の増加で営業CF減少

（百万円）	第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
	実績	実績	前期差
営業CF	2,455	1,033	△1,422
投資CF	△974	△105	869
財務CF	△1,513	△409	1,104
フリーCF	1,481	928	△553

5. 設備投資・減価償却費の概要（連結）

F&A AQUA holdings, inc.

・設備投資額　：出店投資4億円
（前期発生したFDCプロダクツシステム投資が減少）

（百万円、%）	第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
	実績	実績	前期差
設備投資額	831	401	△430

（百万円、%）	第58期（2008/2）	第59期（2009/2）	
	実績	実績	前期差
減価償却費	634	745	111

６．第60期（2010.2期）の数値計画

F&A AQUA holdings, inc.

（百万円、％）	第59期（2009/2）実績	第60期（2010/2）計画	前期比・差
営業収益 （不動産賃貸収入含む）	51,557	52,000	0.9
売上高	49,694	50,180	1.0
営業利益	2,294	2,500	8.9
経常利益	2,341	2,550	8.9
当期純利益	707	850	20.1

7. 事業会社グループ別次期数値計画

F&A AQUA holdings, inc.

（百万円、%）		第59期（2009/2）	第60期（2010/2）	
		実績	計画	前期比・差
FDCプロダクツグループ	売上高	23,226	22,656	△2.5
	営業利益	2,077	2,265	9.1
	経常利益	2,163	2,348	8.6
	当期純利益	1,019	1,199	17.7
アスティグループ	営業収益	20,960	18,653	△11.0
	営業利益	392	677	72.6
	経常利益	623	850	36.4
	当期純利益	△163	106	269
三鈴グループ	営業収益	5,293	9,283	75.4
	営業利益	178	291	63.3
	経常利益	199	290	45.0
	当期純利益	14	139	848.9
㈱アージュ	売上高	7,981	8,458	6.0
	営業利益	25	96	273.4
	経常利益	29	96	226.9
	当期純利益	21	26	19.3

（営業収益には不動産賃貸収入・経営指導料含む。三鈴第59期は2008/9～2009/2の下半期の数値）

F&A AQUA
holdings,inc.

Ⅲ　第二次中期経営計画（2009～2011年度）

第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

挑戦と改革　Challenge and Innovation

事業ポートフォリオの確立

新たなマーケット、ビジネスへの挑戦

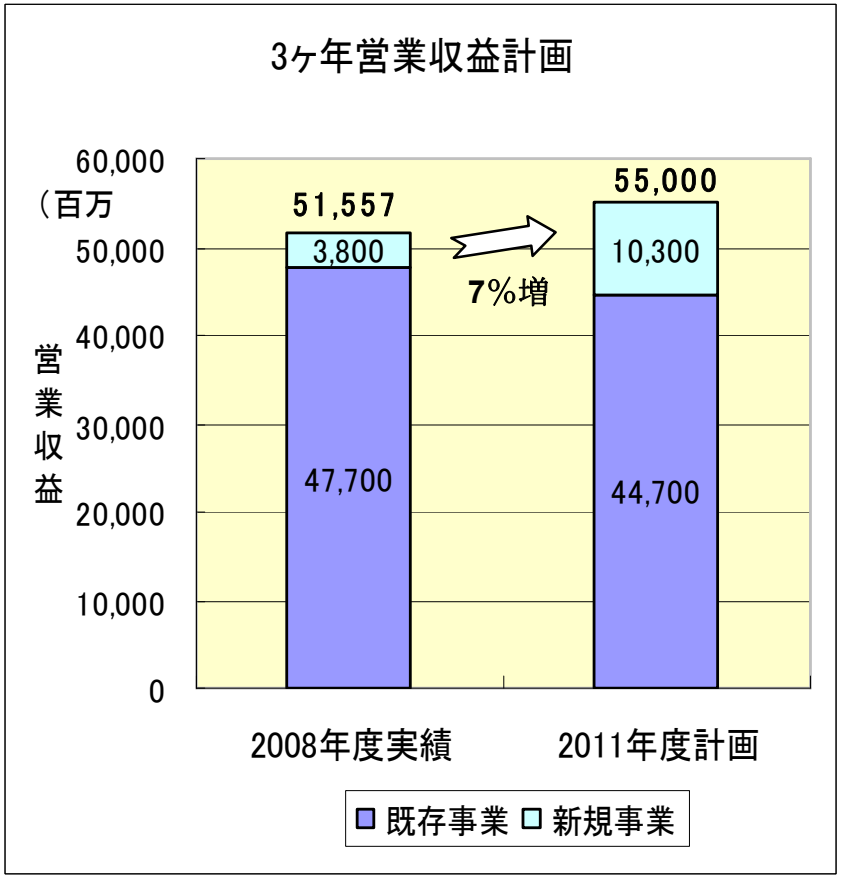
信頼性の高い企業グループの構築

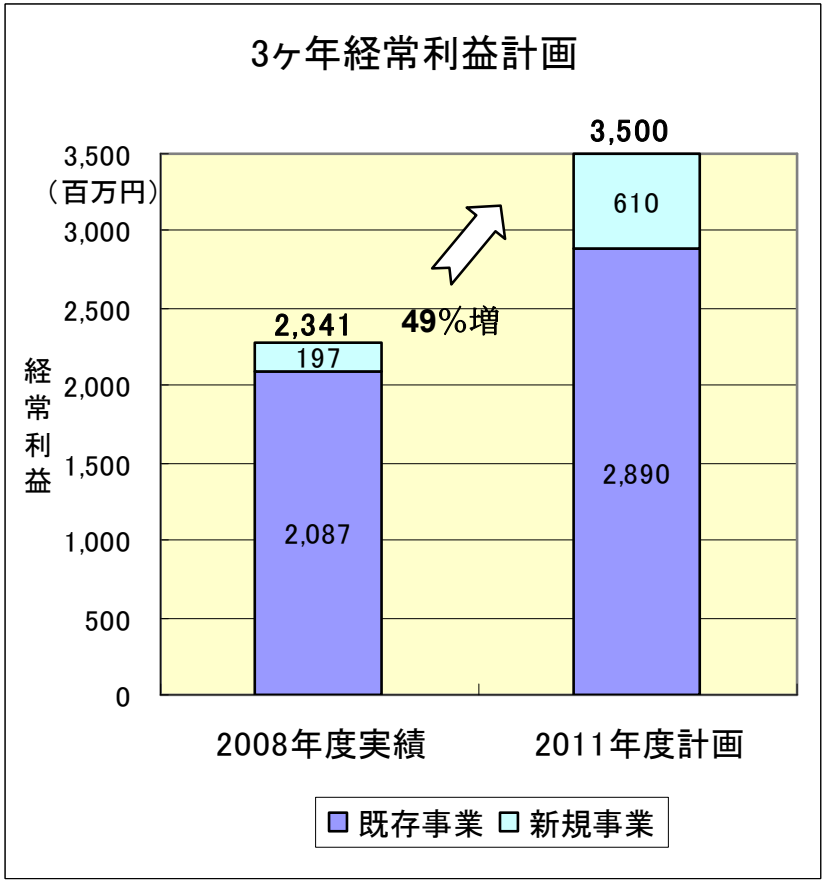
強固なマネジメントで利益の拡大を実現する

第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

成長ビジョン（連結営業収益7%増、経常利益49%増を計画）





第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings,inc.

事業ポートフォリオの確立

1．「4℃」ブランド以外の各ブランドにおける利益体質の確立

2．アスティにおけるバッグ・アパレルOEM事業の強化

3．㈱三鈴グループのSPA機能の強化による収益拡大

4．アージュにおけるデイリーファッション事業の確立

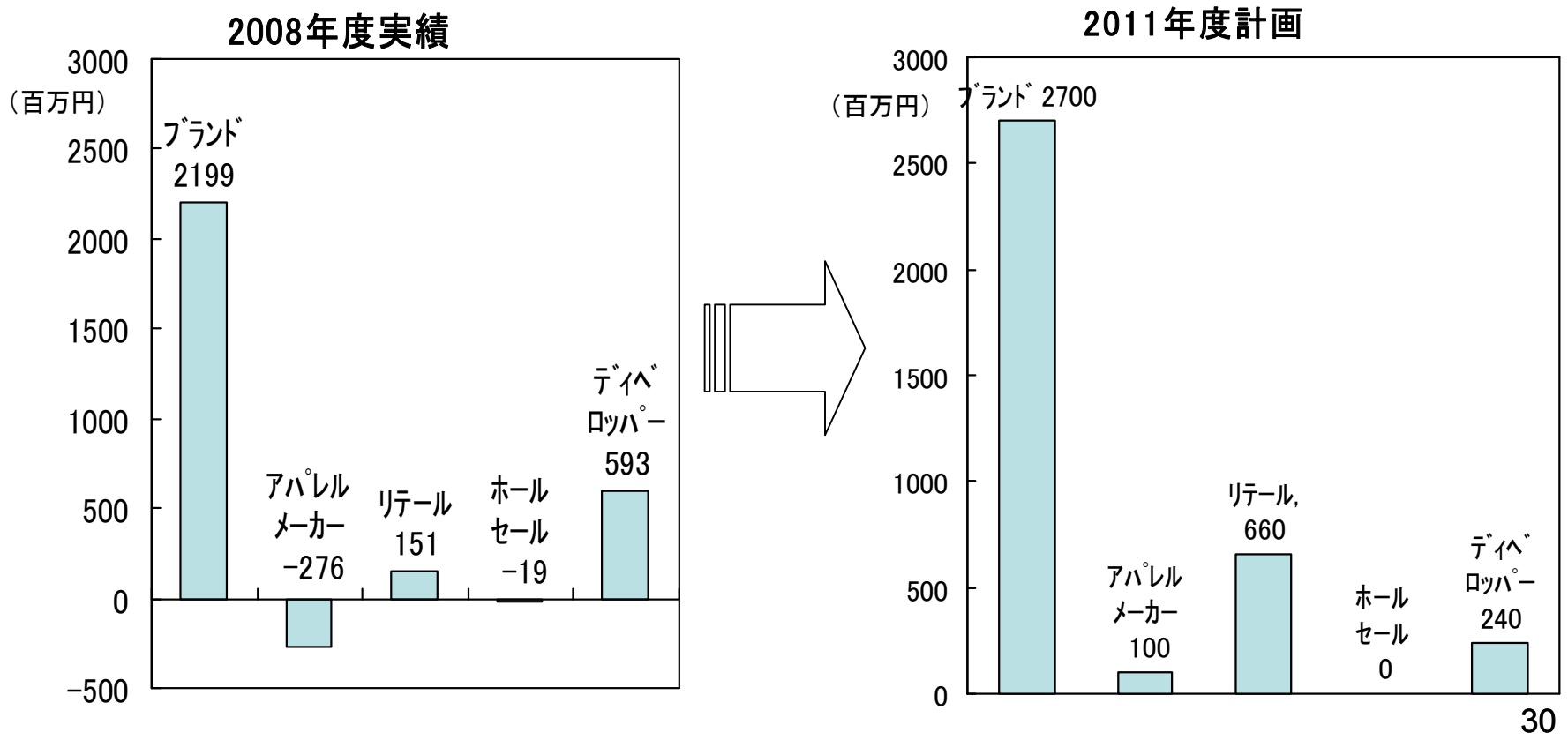
5．各グループ子会社の利益体質強化

第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

セグメント構造改革による営業利益改善

営業利益計画

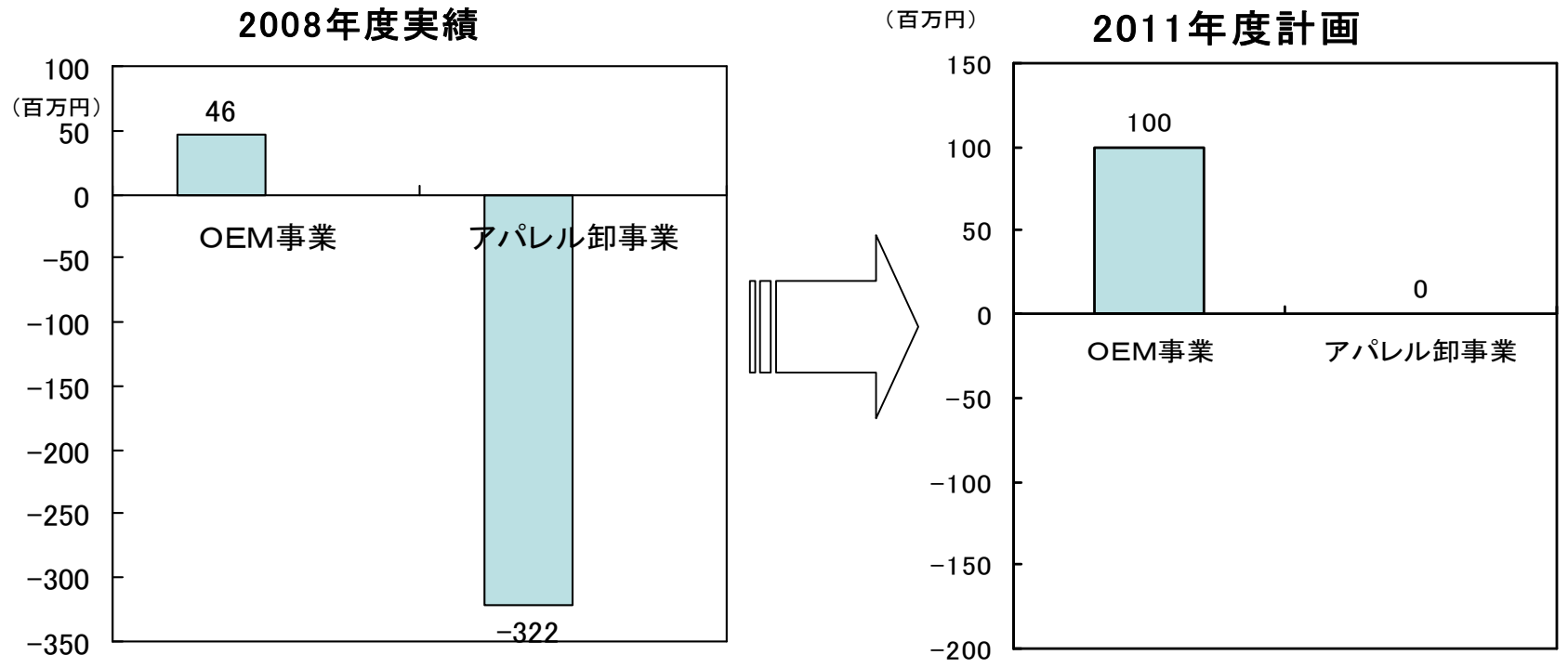


第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

アスティにおけるアパレルメーカー事業改革

営業利益計画



第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

新たなマーケット、ビジネスへの挑戦

1．㈱エフ・ディ・シィ・プロダクツによる新たなマーケットの開拓

2．㈱エフ・ディ・シィ・プロダクツ販売子会社の安定運営
㈱エフ・ディ・シィ・フレンズ　08.9.1設立　「4℃」バッグ等の販売代行

3．三鈴グループ及び㈱アージュによるマーケットの開拓・拡大

第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

新たなマーケットへの挑戦

１．㈱エフ・ディ・シィ・プロダクツによる新たなマーケットの開拓

① 「4℃」派生ブランドの成長

「canal4℃」09年9店舗出店　ファッションビル、駅ビル展開

（3ヶ年で15店舗、13億円を計画）

「EAUDOUCE4℃」の育成

② 海外進出（3ヶ年で中国に2、3店舗）

上海梅龍鎮伊勢丹　08年9月18日オープン

第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

信頼性の高い企業グループの構築

1．グループ内部統制体制の構築

2．グループシステムの高度化と次期システムの構築準備

3．経営理念に則ったCSR経営の推進

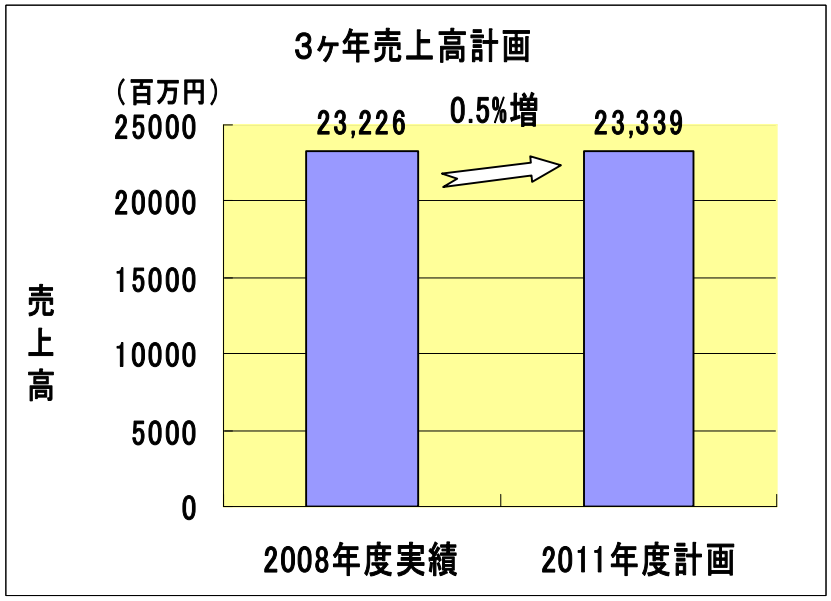
4．人材の確保と育成

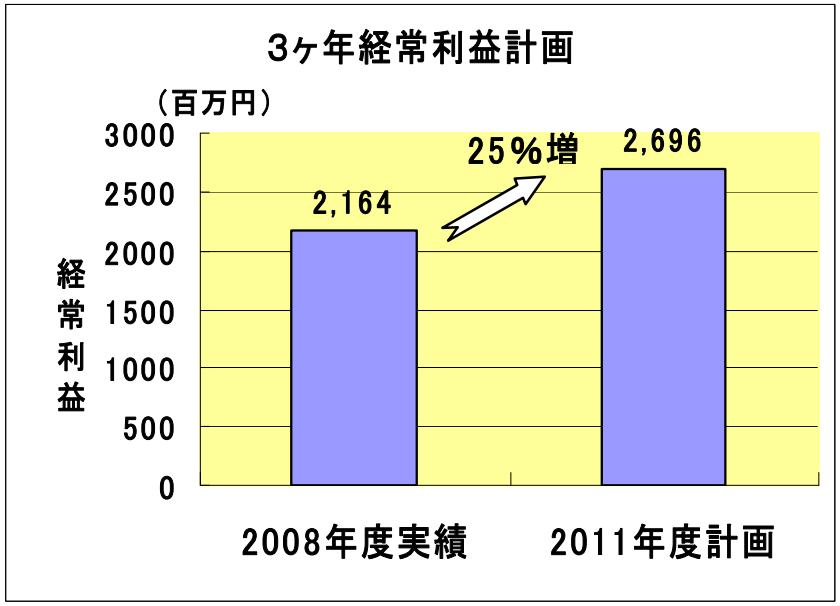
第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループの基本方針

1．「4℃」ブランドの価値向上　…出店抑制、人材投資、BJA育成
2．マーケット拡大　…「4℃」派生ブランド、海外進出、等
3．新たなビジネスモデルの構築　…エフ・ディ・シィ・フレンズ設立



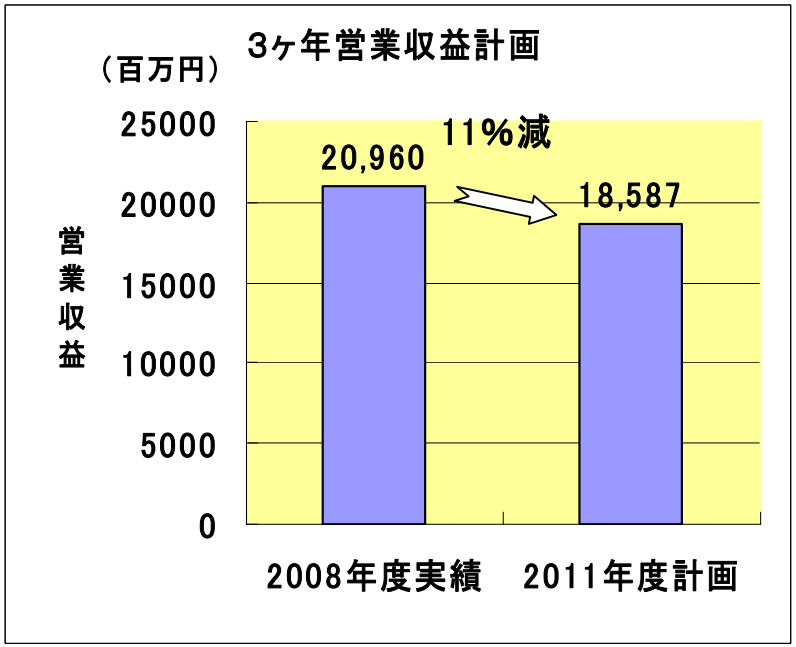


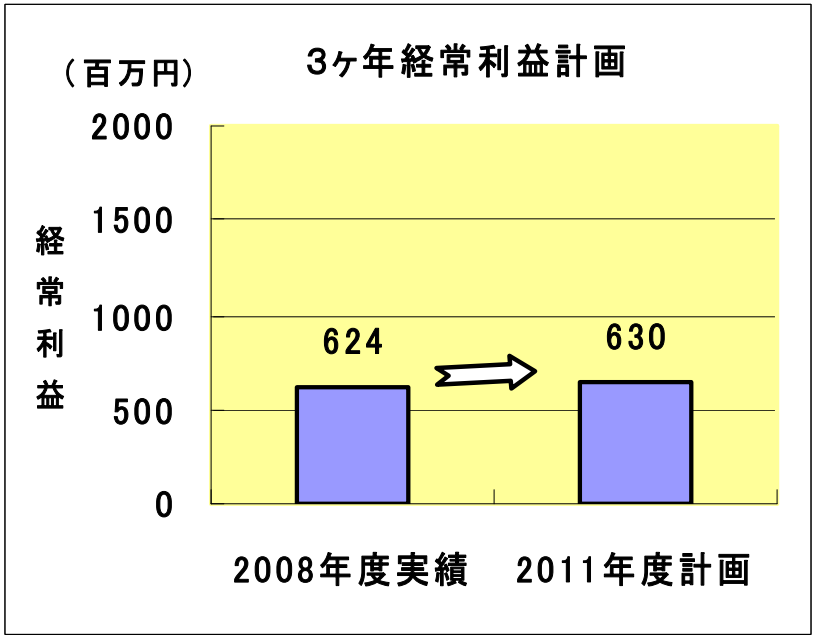
第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

アスティグループの基本方針

1．主力得意先との取り組み強化
2．不採算事業の圧縮



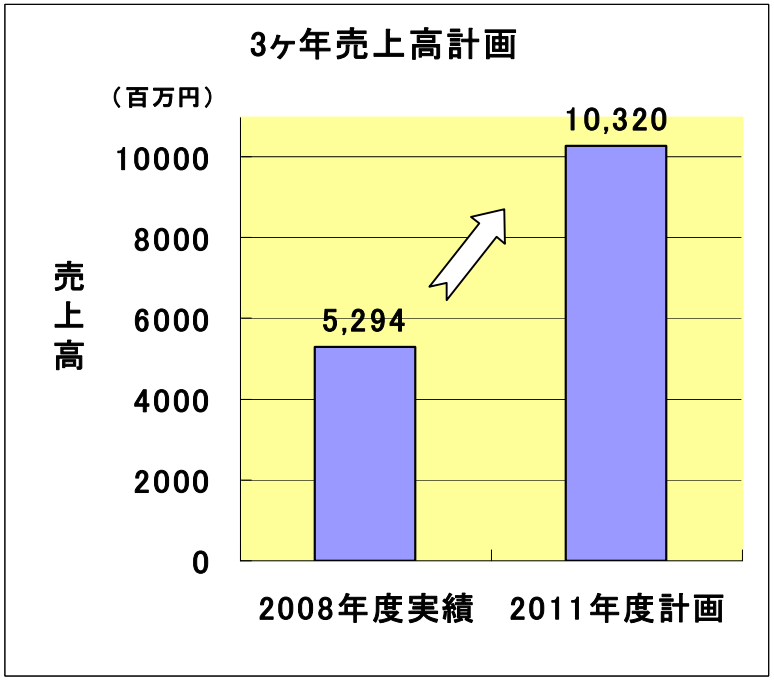


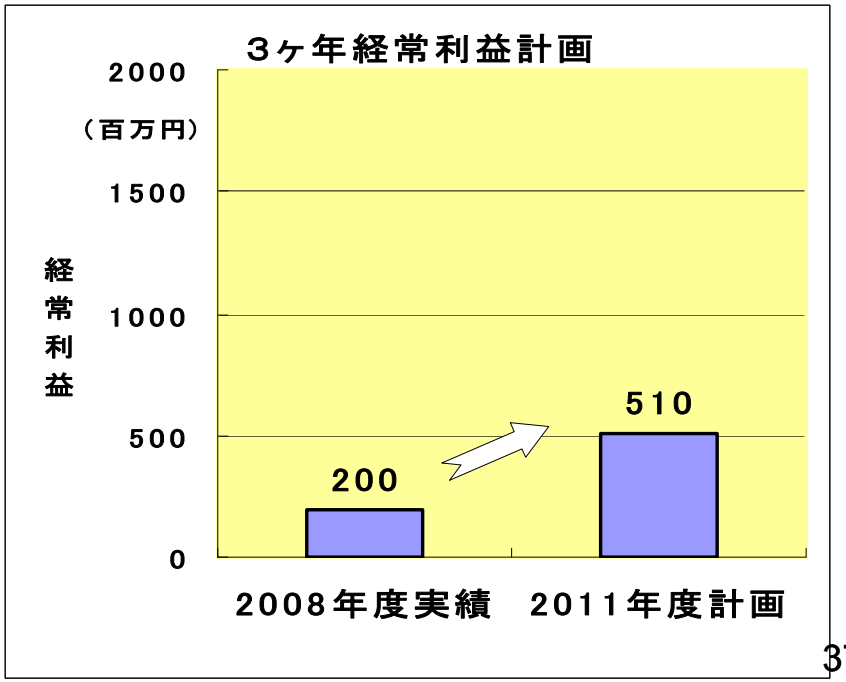
第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

㈱三鈴グループの基本方針

SPA型リテール機能として収益拡大
・SPA機能の強化



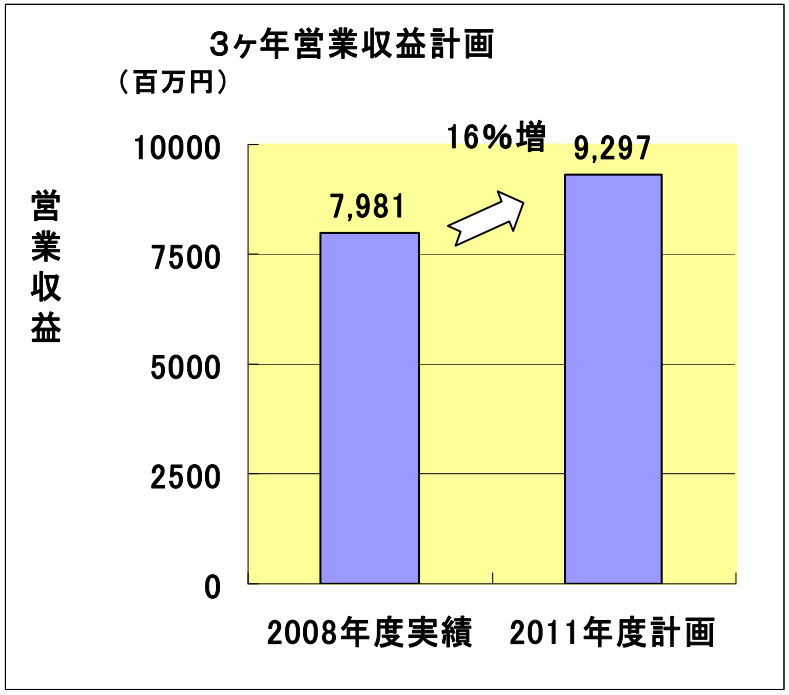


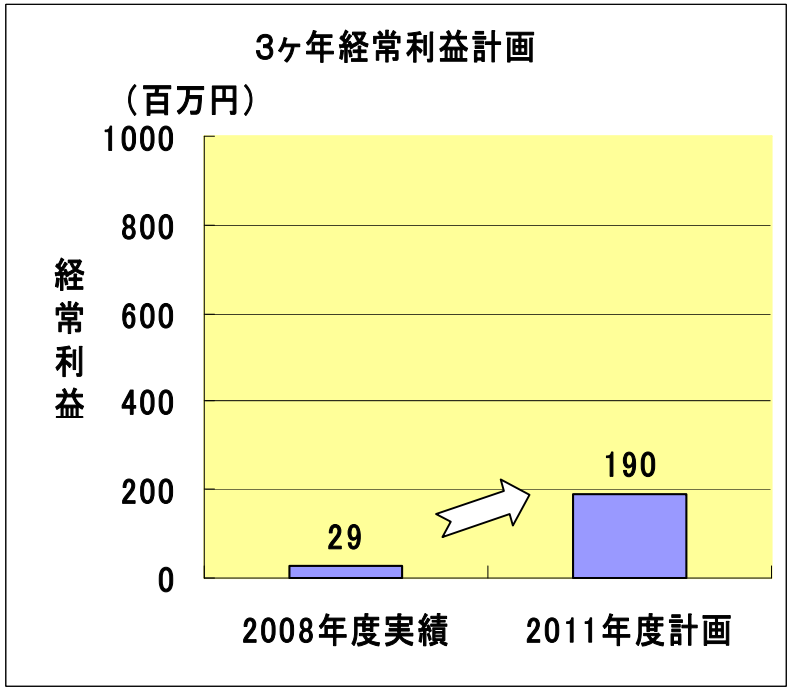
第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings,inc.

㈱アージュの基本方針

1．マーケットの開拓・拡大
2．利益体質の強化　経常利益率2%以上



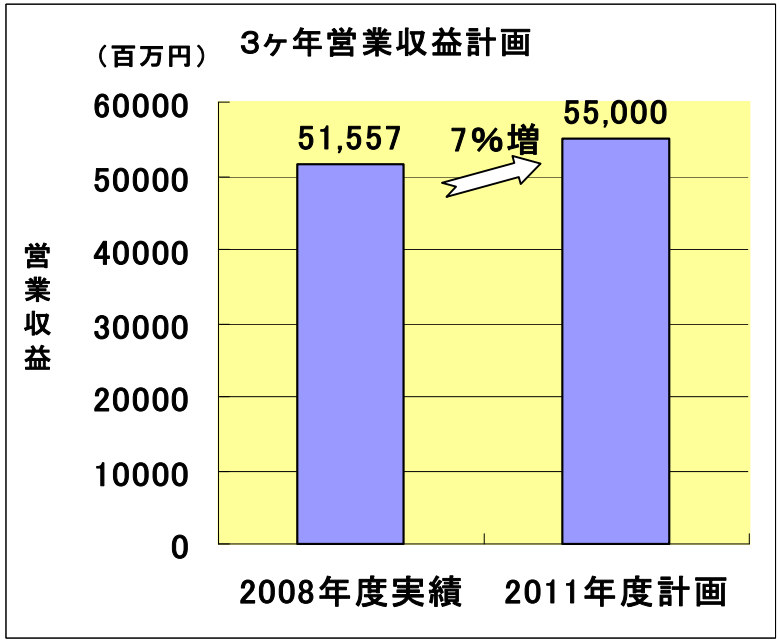


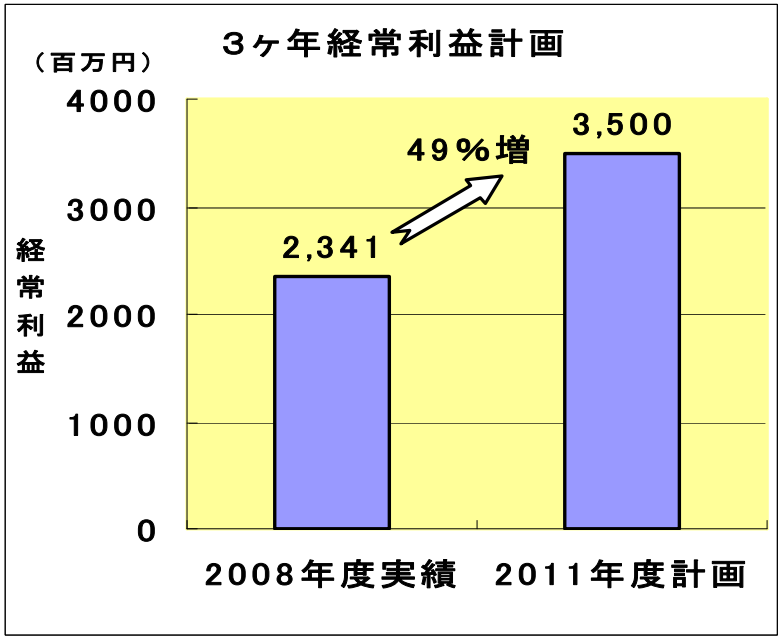
第二次中期経営計画（2009～2011年度）

F&A AQUA holdings, inc.

2011年度連結目標

営業収益　550億円（2008年度比+7%）
経常利益　35億円（2008年度比+49%）
当期純利益　20億円（2008年度比+183%）





7. 株主還元策

F&A AQUA holdings, inc.

・配当政策
　安定配当を基本に、連結営業利益、当期純利益を勘案し決定
　連結配当性向25%以上、営業利益20%を目途
　中間配当10円、期末配当10円、年間配当20円予定

・自社株買いの実施

8. 最後に

F&A AQUA holdings, inc.

第一次中期経営計画のポイント

収益力の改善
①「4℃」ブランドを毀損させない。
②ディベロッパー事業に代わる収益の柱を作る。
③アパレル卸事業の収益改善を図る。

第二次中期経営計画
挑戦と改革の実践による計画の達成を目指す。

F&A AQUA holdings,inc.

本日は誠にありがとうございました

【お問い合わせ先】

株式会社Ｆ＆Ａアクア・ホールディングス

業務部　大木（オオキ）・渡部（ワタナベ）

TEL　03-5719-4407
FAX　03-5719-4462
E-mail ir@fa-aqua.co.jp